



学校だより 令和4年7月20日 No. 299

柏崎市立柏崎小学校

柏崎市学校町1番88号

TEL0257-22-2196 FAX0257-24-0304

HP<http://kedu.kenet.ed.jp/hakushou/>

E-mail [hakushou@kenet.ed.jp](mailto:hakushou@kenet.ed.jp)

## 全校つながりアン講話から

校長 竹田 充

6, 7月に修学旅行(6年生)、自然教室(5年生)がありました。この宿泊行事では交流や体験を通して見聞を広め、働く人々の生き方を学びますが、仲間との心のつながりを深める絶好の機会でもあります。全校の子どもたちにも、友達ともっと仲良くなるためにはどうしたらよいかを考えてほしいと思い、6月の全校朝会で『あのとき すきになったよ』\*という絵本を私が読み聞かせをして、それを題材に全学級で道徳をやってみました。

この本のあらすじはこんなふうです。おしっこをもらしてばかりいる「まりかさん」は、「しっこさん」と呼ばれている。「わたし」はなんとなく苦手だったのに、小さな事件をいくつか乗り越えるうちにだんだん仲良くなっていく。小さなイジメやケンカは子どものまわりにたくさんあるけれど、仲良しのきっかけもたくさんあると思える絵本です。

私が示した発問例は以下の3つでした。

1 「あのとき すきになったよ」の「あのとき」とは、いつのことでしょう。そのわけも書きましょう。

2 花びんのなかみをぶちまけたまりかさんの行動について、あなたはどのように思いますか。

3 友達ともっとなかよしになるには、どんなことが大事だと思いますか。

子どもたちからは次のような意見が出ました。

- ・二人で金魚のお墓をつくっていっしょに飛行機雲を見ていたとき心が通じ合った。(3年生)
- ・学校を休んでお手紙を読んだとき、やさしいと思った。(2年生)
- ・「あのとき」は一つの場面ではないと思う。(6年生)
- ・花瓶の水をまいて、叱られるのもわかっていても友達を優先した。(4年生)
- ・ごめんねとあやまったとき、心がふわとなった。(1年生)
- ・困ったことがあったら聞いてあげる。ピンチの時に助けるのが大事。(5年生)



友達のことについては、大人と関係ないところ、子どもだけの世界で進みます。気が合う、いっしょにいと楽しい、会話が弾む…子どもなりの価値観で友達や仲間をつくって広がっていきます。ただ、普段あまり仲良しでない人に対して、一面でとらえていないかなと思うのです。その人にもいろんな面があるんだ、こんなところがあるのかと気付くことがあります。それは、いっしょに何かをしたとき、すてきな時間を共有したときに感じるのでしょう。

「かかわりあい」のシーズン2。一生の宝物になるくらい、友達ともっと仲良くなってほしいです。

\*『あのとき すきになったよ』(作・薫くみこ 絵・飯野和好 1998 教育画劇)



## 夏休み・9月の行事予定



7月22日(金) 夏休み前集会

7月27日(水)～28日(木) 児童宅住所確認

\*担任が、自宅の場所を車で確認します。

7月31日(日) 合同ラジオ体操(少年広場)

8月12日(金)～17日(火) 学校無人化

8月26日(金) 夏休み明け集会

9月10日(土) 休日参観日

12日(月) 振替休業日

27日(火) 親善陸上大会(6年のみ)

28日(水) 予備日